

仲ノ池緑地公園の樹木

はじめに

仲ノ池公園にはいろいろな植物が生え森のように見えます。しかし、よく見ると不思議なことに気づきます。こんなところにこの木が生えているのは変だとか、いっしょに住む仲間ではないのとなり合っ

て生えています。そのわけは、ここの植物のほとんどは公園を作るために人間が植えたものであ

り、自然の森ではないからです。自然環境を考えるには、自然の森を知ることが大切です。

そのためには自然の森ではないが、公園の森は近くにあって便利ですからここで勉強をはじめましょう。そして六甲山に登り自然の森を観察してみましょう。

この本の使い方

数字の後に植物の名があります。また公園マップにも数字が書いてあります。同じ数字のところにその植物が生えています。この公園には50種以上の植物があります。その約半分をこの本でとりあげ、一番の特徴を説明しています。

ある一本の木をマップでさがしあてたら、その場所に行き説明と写真をよく見て、実物の木をよく観察し、特徴を理解してください。このときスケッチをし、気づいたことをメモすることが大切です。

この公園には一本しかない木もありますが、同じ種類の木が二本以上生えていることもあります。日本人でもいろいろな顔の人がいるように、同じ種類の木の葉でも生えている場所により、また同じ木の中でも、その木の上、真ん中、下、あるいは日陰、日の当たるところなどと、

どこに葉がついているかにより少しずつ違いがあります。

ですから一本の木がわかったら、次にはそれと同じものがほかの場所にもないか探してみてください。

これをくりかえすうちに公園の木のなが全部わかってきます。そうすると公園でないところでも名のわかる木を見かけて、とても楽しい気分になりますよ。

【鋸 歯】 葉のふちがのこぎりの葉のように細かく切れ込んだもの

【 柄 】 葉と枝を連結している部分

【葉 脈】 葉の中で栄養と水分が行き来する通路

【常緑木】 緑の葉は緑色を失って落ちるが、全体として一年中緑に見える木

【落葉木】 一年のうちある期間、葉がすべて落ち、全体に葉がなくなる木

樹木マップ

- 1 シャリンバイ
- 2 ウバメガシ
- 3 クスノキ
- 4 ハナズオウ
- 5 エノキ
- 6 ラクウショウ
- 7 アラカシ
- 8 クロマツ
- 9 アカマツ
- 10 スダジイ
- 11 シダレナヤギ
- 12 アベマキ
- 13 ユキヤナギ
- 14 ヤマモモ
- 15 アキノレ
- 16 ナンキンハゼ
- 17 コナラ
- 18 マルバハギ
- 19 トベラ
- 20 ニセアカシア
- 21 クチナシ



1 シャリンバイ (バラ科シャリンバイ属)



葉



葉と実



葉(おもて)



葉(うら)



実



花

常緑低木で高さは1～4 mくらい。

葉 皮のように硬く円形から卵形で裏側に巻いています。透かすと細かい網目が見えます。葉が車輪のように並んでつきます。

花 白いウメの花に似ています(車輪梅)。

実 直径1 cmほどの黒紫色で表面には白い粉がついています。

仲ノ池の公園では南側入り口の階段前に植え込みのように植わっています。

2 ウバメガシ (ブナ科コナラ属)



樹皮



実



葉(おもて)



葉(うら)

常緑の低木で高さは3～5 mくらい。

樹皮 縦に浅く裂け黒褐色。

葉 厚く長円形で、上半分に浅い鋸歯があり、葉の周辺は半透明の線になっています。裏面は薄い緑色で、柄は小さく5mmほどです。

実 実(ドングリ)は長円形で、おわんは黄褐色のリン片が瓦を重ねたように並んでいます。



花

仲ノ池では南側入り口の階段横にあります。

3 クスノキ (クスノキ科クスノキ属)



樹皮



実



葉(おもて)



葉(うら)



花

常緑の高木で、高さは15～30mくらい。

樹皮 灰褐色で裂け目があります。

葉 長さは6～10cmのだ円形で、3本の葉脈が目立ち、縁はなめらかです。葉脈の付け根のあたりに小さなふくらみがあり、中には「ダニ」がすんでいます。枝や葉から樟脳(防虫剤や芳香剤の材料)を作ります。

仲ノ池南側の藤棚の西側にあり、よく目立ちます。

4 ハナズオウ (マメ科ハナズオウ属)



樹皮



花



葉(おもて)



葉(うら)

落葉低木で高さは1～2mくらい。

葉 ハート型でつやがあり、先が丸く、ふくれた柄から5～7本の葉脈が出ています。

花 4月ごろ、葉が出る前にチョウチョウ形をした紅紫色の花が咲きます。

実 形がさやえんどうに似た豆のようです。

仲ノ池の南側の植え込みに1本よく目立つように立っています。

5 エノキ (ニレ科エノキ属)



樹皮



実



葉(おもて)



葉(うら)



花

ハナズオウの東側に植わっており、よく目立ちます。

落葉高木で高さは20mくらい。

樹皮 割れ目はないが、小さな皮目があります。

葉 やや厚くつやがあり、上半分に浅い鋸歯があります。柄から3本の葉脈が出ていますが、葉脈は鋸歯につながりません。葉は全体に弓形にカーブしています。ムクノキに似ています。

実 直径6mmほどの赤褐色で柿の味がします。

6 ラクウショウ (ヌマスギ) (スギ科ヌマスギ属)



樹皮



葉



根(膝根)

落葉高木で高さは20mくらい。

樹皮 赤褐色であるが濡れると黒褐色になり、皮は縦に裂けて落ちます。

葉 鳥の羽形をし、このまま秋に落葉します。落羽松と書きますがマツではなくスギの仲間です。沼地などに生育するので、根元周辺に呼吸をするためのこぶ(膝根：シッコン)が突き出ています。

仲ノ池では東南の角で一番目立ちます。膝根もよく発達しているのでみてください。

7 アラカシ (ブナ科コナラ属)



樹皮



実



葉(表)



葉(裏)

池の東南の植え込みに生えています。

常緑の高木で高さは20mくらい。

樹皮 暗い灰色で大きな割れ目はありません。

葉 厚く、幅が広く、上半分に鋭い鋸歯があります。裏面は白みをおびて葉脈に沿って白い毛があります。葉の先は尻尾のように少し突き出ています。

実 ドングリは縦じまが目立つ卵型で、おわんは横じまの輪が目立ちます。

8 クロマツ (マツ科マツ属)



樹皮



松かさ(まつぼっくり)



葉

道をはさんでラクショウの反対側にあり、よく目立ちます。

常緑の高木で、40mになるものもあります。

樹皮 黒灰色で、亀甲状の割れ目ができます。

葉 葉先を触ると痛いので、アカマツと区別できます。潮風に強く、防風・防砂林としても植えられます。

木は庭園、公園、並木、盆栽などに利用され、材は建築、土木、器具、パルプなどに利用されます。幹からは松脂(まつやに)が採れます。

9 アカマツ (マツ科マツ属)



樹皮



松かさ(まつぼっくり)



葉

常緑の高木で高さは30～35mくらい。

樹皮 赤褐色又は黄赤褐色で名の由来ともなっています。

葉 クロマツに比べ葉先が柔らかく、さわっても痛くありません。

日当たりがよくかわいてやせた土地に多くみられ、マツタケ林にもなります。

仲ノ池ではアカマツとクロマツが近くに植わっているのので、違いを比べて見て下さい。

10 スダジイ (ブナ科シイノキ属)



樹皮



実



葉(表)



葉(裏)

常緑の高木で高さは25m、径1.5メートルくらい。

樹皮 黒褐色で染料になります。

葉 5～10cmで表は緑色、裏は金色で、鋸歯のあるものとないものがあります。

実 ドングリで食用として利用されます。炒っても生でもおいしく食べられます。シイタケ栽培の原木になります。またスダジイより実の小さいツブラジイという木もあります。

アカマツの北側にあり、葉をよく見れば見分けやすいです。

11 シダレヤナギ (ヤナギ科ヤナギ属)



樹皮



葉



花

池の東側の真ん中あたりにありよく目立ちます。

落葉高木で高さ8～15mくらい。

樹皮 灰褐色で縦に割れます。

葉 長さ8～13cm、幅は1～2cmと細長く、周囲に細かな鋸歯があり、裏は粉のような白色です。枝葉が長く下に垂れるため、「シダレヤナギ」といいます。

花 雄株と雌株があり黄色の花が咲くが、雌株はほとんど見ることはありません。

12 アベマキ (ブナ科コナラ属)



樹皮



実



葉(表)



葉(裏)

落葉の高木で高さは15mくらい。

樹皮 深くえぐれるように割れた溝のある樹皮は、コルクのような柔らかさです。

葉 10～17cmで長細く、先がトゲ状になった鋸歯があります。裏に毛が生えていて白っぽく見えます。

実 ずんぐりした形で、おわんの外はそりかえった太いひげがたくさんついています。クヌギとよく似ていますが、葉と樹皮の特徴に違いがあります。



花

池の東の歩道のベンチの横にあります。

13 ユキヤナギ (バラ科シモツケ属)



葉



葉



花

落葉低木で高さは1～2mくらい。名前はユキヤナギですがヤナギの仲間ではありません。

葉 弓形に伸びた枝に2～4.5cmの葉が並んでつきます。

花 4月ごろ小さな5弁の花が咲くと白い雪をかぶったように見えます。

アベマキと並んで、ベンチの近くに植わっています。

14 ヤマモモ (ヤマモモ科ヤマモモ属)



樹皮



実



葉(おもて)



葉(うら)

常緑の高木で高さは25mになるものもあります。

樹皮 灰色です。

葉 6～12cmでごわごわしています。

実 粒々の表面が赤橙色になり、甘い実になります。

仲ノ池では北側のあずまやの横にあります。

15 アキニレ (ニレ科ニレ属)



樹皮



花



葉(おもて)



葉(うら)

落葉の高木で高さは15mくらい。

樹皮 うろこ状に細かくはがれます。

葉 2.5～5cm程度で表面は少しかたく皮のような光沢があって鋸歯があります。

仲ノ池の北側の水路の横に植わっています。

16 ナンキンハゼ (トウダイグサ科シラキ属)



樹皮



葉(おもて)



葉(うら)



実

落葉高木で高さは15mくらい。ヤマハゼの仲間ではありません。

樹皮 灰褐色で縦に裂けます。

葉 魚のエイに似たひし形をした卵型で、柄と葉の間にイボがあります。紅葉が美しい。

実 10月ごろ生り、直径1.5cmのゆがんだ球形をしており、中に3個の白い有毒の種があります。これはロウソクの原料として利用されます。

池の北側でアキニレと並んで立っています。



実

17 コナラ (ブナ科コナラ属)



樹皮



実



葉(おもて)



葉(うら)



花

池の北側の遊歩道の水路横に立っています。

落葉の高木で高さは15~20m。

樹皮 灰色で、縦に浅く裂けます。

葉 5~15cmの倒卵形で鋸歯が大きく、秋には赤茶色に紅葉します。

実 2cmほどのドングリがなります。少し浅いおわんにはうろこのようなものが瓦のように並んでいます。

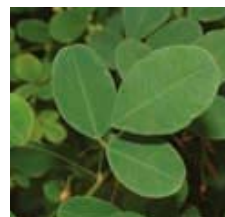
18 マルバハギ (マメ科ハギ属)



花



花



葉(おもて)

落葉の低木で高さは1~3m。

葉 2~3cmの丸い葉が3枚セットでつきます。

花 秋に長さ1~1.5cmの紅紫色の花をつけますが、葉より短く隠れて見えます。

北東の入りの階段を半分下りたところに植わっています。

19 トベラ (トベラ科トベラ属)



樹皮



実



葉



花

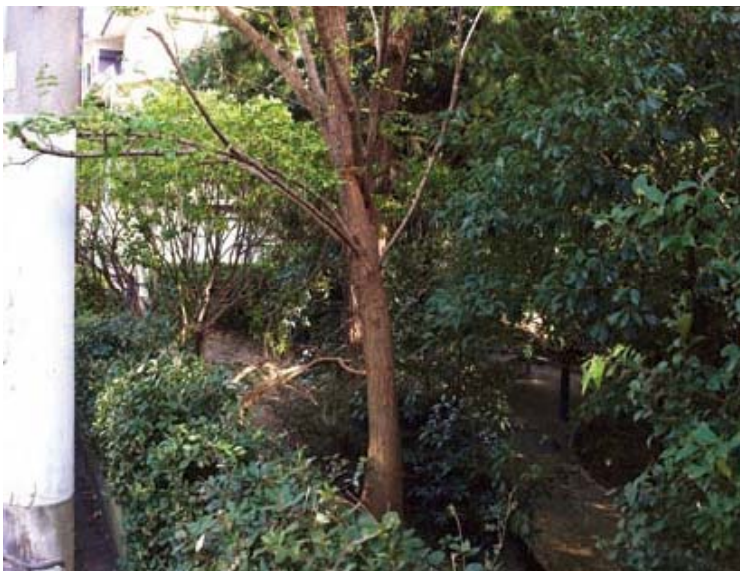
常緑の低木で、高さは2～3mくらい。

葉 5～10cmの厚みのある長だ円形で、枝先に集まります。葉をもむと独特の異臭がします。

花 4～6月ごろに葉の上に白い花がかたまって咲きます。

池の北東、マルバハギの近くに植わっています。

20 ニセアカシア (ハリエンジュ) (マメ科ハリエンジュ属)



樹皮



花



葉

落葉の高木で、高さは15～25mくらい。

樹皮 暗灰褐色で縦に裂けます。

葉 2～5cmの柔らかな卵形で先端が少しくぼんでいます。鳥の羽のように小葉が並んでいて、根元には針があります。

花 香りのよい白い花がぶどうのようにたれて咲きます。(アカシア蜂蜜の花です) 繁殖力が強く、荒地にもよく生育します。

公園の北側の通路沿い、電信柱の横に植わっています。

21 クチナシ (アカネ科クチナシ属)



実



葉



花

常緑の低木で高さは1.5～3 mくらい。

葉 4.5～17cmのだ円形で、葉の根もとの茎に筒状の皮膜があります。

花 初夏に白い花を咲かせ、甘くにおいます。

実 果実が熟しても口を開いて種子を散布しないので口なしの意味とされています。完熟した黄赤色の果実は乾燥させて染料として使います。また、消炎、止血、鎮静、利尿作用があるため、不眠症、黄疸、打ち身、出血などの治療に用います。

公園の南東の道路沿いのポストの横に植え込みとして植わっています。

【参考資料】

学生版	牧野日本植物図鑑	北隆館
ポケットガイド	庭木・街の木	小学館
ポケットガイド	野山の樹木	小学館
フィールドガイド	葉で見わける樹木	小学館
ヤマケイポケットガイド	庭木・街路樹	山と溪谷社
ヤマケイポケットガイド	野山の樹木	山と溪谷社

また、一部の画像を以下のホームページより転載しております。

快くご許可いただき、ありがとうございました。

- HP 神戸・六甲山系の森林 (清水 孝之氏)
- HP デジタル化神戸の自然シリーズ (神戸市総合教育センター)
- 市街地の生き物 (広瀬 重夫氏)
- 四季に生きる草木と昆虫 (白岩 卓巳氏)